

令和2年度外国人介護人材日本語学習支援事業実施業務に係る質問に対する回答

令和2年5月22日

番号	募集要領・仕様書関連箇所	質問内容	回答
1	企画提案募集要領第7条	6月5日のプレゼンテーション審査は何時からどこで開始するか。	実施会場は仙台市青葉区内ですが、それ以上の詳細については、一次審査（書面審査）を通過しプレゼンテーション審査に参加する事業者のみに、6月2日（火）に電子メールにて通知します。
2	仕様書2	「契約締結の日から」とあるが、県では、いつごろからの事業開始を想定しているか。7月か8月かで、スケジュールが大きく変わるため。	7月に受講者の募集を行い8月に講座を開始することを想定していますが、受託事業者と協議の上決定します。
3	その他	授業開始はいつ頃を見込んでいるか。	8月に講座を開始することを想定していますが、受託事業者と協議の上決定します。
4	仕様書4 (1)ロ	研修会場に関しては、自社施設のみというような制限があるか。	研修会場は、自社施設に限りません。仕様書（2）ロのとおり、受講者の利便性に配慮した会場であれば、貸会議室その他の会場でも構いません。
5	仕様書4 (1)ハ	受講生募集時、外国人介護人材が就労する県内の施設に関する情報提供などにおいてご協力をいただくことは可能か。	受講生募集については、関係機関への通知と県HPへの公開を想定しており、原則として県が行います。なお、募集チラシの作成や受講希望者のとりまとめ等、その他の募集業務は受託事業者で行っていただきます。
6	仕様書4 (1)ハ	参加者募集は、受託者が行うのか、どういうところに、どういう方法でいつから行うことを想定しているか。県はこの募集について、全く関わらず、受託者のみがこれを行う、というスタンスなのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生募集については、関係機関への通知と県HPへの公開を想定しており、原則として県が行います。なお、募集チラシの作成や受講希望者のとりまとめ等、その他の募集業務は受託事業者で行っていただきます。 ・募集時期は7月を想定しておりますが、受託事業者と協議の上決定します。
7	仕様書4 (1)ヘ	「ヘ アンケート等の実施、とりまとめ」とあるが、具体的にどのような内容を想定しているか。	アンケートは、受講者に対し、授業の感想や今後の要望を中心に回答させるものを想定しています。

8	仕様書4(2)	研修参加者が何らかの理由で途中辞退となった場合の取り扱いは、そのまま1名減でコンテンツを進めても問題がないのか。	問題ありません。 ただし、研修受講者が少ない場合等、再募集等を指示する場合があります。
9	仕様書4(2)	受託後、ご担当者との協議の上、カリキュラム等を変更することは可能か。対象者の属性によって、必要な学習内容に幅が出ると想定している。受託後の応募状況によってカリキュラムや各回の実施時間等の変更・調整はご提案の範囲内という認識でよいか。	可能です。応募状況や対象者の属性に応じ、受託事業者との協議の上、カリキュラム等を変更・調整したいと考えています。
10	仕様書4(2)	1回あたりの授業時間数に制限はあるか(1回の講義〇時間までなど)。	上限はありません。下限については、県と受託事業者とで協議を行い、決定します。
11	仕様書4(2)イ	研修対象者に技能実習生は含まれるのか。	含まれます。
12	仕様書4(2)イ	県が想定する主な対象者はどの階層となるか。 属性(定住外国人、EPA、技能実習など)と主な国籍、日本語能力のレベル、持っている介護関連資格、在住在勤の地域、介護事業所への平均在籍年数等、可能な範囲でお示し願う。	対象者は、県内の介護サービス施設・事業所において従事する外国出身の介護職員の他、留学生等の従事予定の外国人を広く想定しております。それ以上に細かい対象者の定めはありません。
13	仕様書4(2)ハ	上級クラス受講者に関してですが令和3年1月に行われる介護福祉士受験予定の受験人数割合をどの程度で想定していますでしょうか。	受講者の属性や希望によって判断するため、現時点で受験人数割合は想定していません。
14	仕様書4(2)ハ	②介護に関する日本語コースの会話クラスに関して、介護職従事予定の外国人材を想定していると思うが、介護に興味があり、これから職場を探したいというような人材も対象となるか。	対象となります。ただし、定員をオーバーした場合は、介護職に従事済みまたは従事予定の方の受講を優先し、お断りする場合があります。
15	仕様書4(2)ハ	一人の受講生が複数のクラスに入ることは可能か(例えば「読み書	日程が重複しなければ可能です。

		きクラス」と「初級クラス」の掛け持ちなど)。	
16	仕様書4 (2)ニ	「各クラス授業回数は前期6回、後期6回程度」とあるが、前期・後期の期間はそれぞれ規定があるか。	期間の規定はありませんが、令和2年度中に終了していただきます。
17	仕様書4 (2)ニ	受講生に関して「前期後期それぞれの募集とする」とあるが、受講生は全期通して受講することは可能か。	可能です。
18	仕様書4 (2)ニ	介護福祉士国家試験対策コースは授業回数を増やすことは可能か。	可能です。
19	仕様書4 (2)ニ	仕様書では4クラスで「実施回数は各クラス前期6回、後期6回の全12回程度を原則とし、前期後期それぞれの募集とする。」とございましたが日数に換算しますと、 前期 4クラス×6日間=24日間 後期 4クラス×6日間=24日間 合計48日間が原則の回数という理解でよろしいでしょうか。	そのとおりです。
20	仕様書4 (2)ホ	「受講者の～知識の習得レベルに応じたグループ分け」という文言があるが、これは、(2)ハで示されているコース及びクラス分けとは異なるグループ、あるいは、もっとクラスをさらにグループに分けるといった意味合いがあるのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・(2)ハのコース及びクラス分けをさらにグループ化するという意味です。 ・ただし、受講者の日本語能力や介護に関する知識の習得レベルに応じた指導ができる体制となっていれば、ホで示しているグループ分けは必須ではありません。より効果的な方法があれば提案してください。